

俳句

1年目 ステップ11



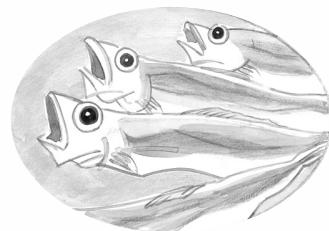
音声はこちら

はつ ゆき
初雪や すいせん
水仙の葉の は
たわむまで



まつ お ばしょう
松尾芭蕉

こ 木がらしや め ざ
目刺しにのこる うみ いろ
海の色
あくたがわりゅう の すけ
芥川龍之介

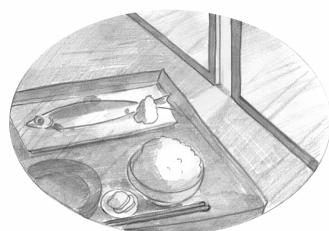


おの い
斧入れて か
香におどろくや ふゆ こ だち
冬木立



よ さ ぶ そん
与謝蕪村

つぎ ま
次の間の ひ ぜん
灯で膳につく さむ
寒さかな



こ ばやしいつ さ
小林一茶



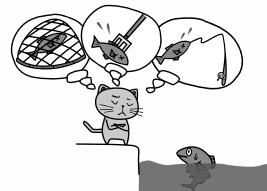
おんせい
音声はこちら

慣用句

1年目 ステップ11

あたま 頭をしぶる

かんが く ふう
おおいに考え、工夫をこらす。



くち だ 口を出す

ひと はな
人が話しているところに自分の意見を差し挟ん
なに もん く い
だり何かにつけて文句を言う。



はら 腹にすえかねる

はら た ゆる
ひどく腹が立ってとても許す気持ちになれない。



て 手がかかる

なに めん どう こと おお て すう よう
何かと面倒な事が多くて手数を要する。



みみ 耳をそろえる

ふ そく ひつ よう きん がく
すこしの不足もなく必要な金額をきちんと整える。



おんせい
音声はこちら

《国語辞典のうた》

国語辞典は
言葉の意味や 使い方 品詞などを調べます

のばす音を調べるときは 上の音の母音を調べる

コーはコオ

活用形を調べるときは 言い切る形で調べましょう

動詞は ウ段で言い切る

形容詞は イ段で言い切る

形容動詞は 「だ」をつけて

<p>「柔らかいパン」 を調べたいとき</p> <p>「走る」 とウ段で言い切る形で</p>	<p>「走ろう」 を調べたいとき</p> <p>「走る」とおきかえて</p>
<p>「柔らかい」 と イ段で言い切る</p> <p>「柔らかなパン」 を調べたいとき</p>	<p>「柔らかいパン」 を調べたいとき</p> <p>「柔らかな」 と 「な」「だ」で言い切る</p>
<p>「柔らかい」 と イ段で言い切る</p> <p>「柔らか」 と イ段で言い切る</p>	<p>「柔らかいパン」 を調べたいとき</p> <p>「柔らか」 と 「な」「だ」で言い切る</p>

（形容詞）

（形容動詞）

（形容詞）

（形容動詞）

（形容詞）

（形容動詞）

（形容詞）

（形容動詞）



おんせい
音声はこちら

ことわざ

1年目 ステップ11

虎穴に入らずんば虎子を得ず
危険を冒さなければ成功を収めることはできない
ことのたとえ。



猫に小判

貴重なものを持つても、持ち主によつては、まったく価値がないということ。

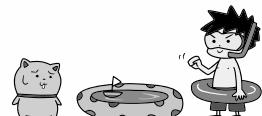


溺れる者はわらをもつかむ
緊急の場合などなんものにでも頼るということ。



転ばぬ先の杖

失敗のないようにあらかじめ十分に準備をしておくこと。



聞くは一時の恥 聞かぬは一生の恥

知らないことはそのままにせず、必ず聞きただせ
ということ。



かっぱの川流れ

名人も失敗することがあるということ。



百人一首

1年目 ステップ11



おんせい
音声はこちら

吹ふ
秋く
のか
む草くら
べ木きに
山やの
風かぜ
をしをお
嵐あらし
といれば
ふらむ

今いま
言いこ
ひいむん
有ありしと
明あけば
のか
月つきり
をに
待ち長なが
月つき
出いの
でつるかな

(素性法師)

(文屋康秀)

